

# 古代イスラエルの暦

ユダヤ暦		現代の月	行事	季節・気候・作物
第1の月	ニサン	3-4月	14日 過ぎ越し 15-21日 無酵母パンの祭り 16日 初穂の捧げ物の日	春・温暖・大麦収穫
第2の月	イヤル	4-5月	14日 月遅れの過ぎ越し	春・小麦収穫
第3の月	シバン	5-6月	6日～七週の祭り (ペンテコステ)	初夏・小麦収穫・イチジク
第4の月	タムズ	6-7月		夏・暑い・ぶどう
第5の月	アブ	7-8月		盛夏・乾季・果樹
第6の月	エルル	8-9月		晩夏・収穫・なつめやし
第7の月	ティシュリ	9-10月	1日 ラッパの吹奏の日 10日 贖罪の日 15-21日 仮庵の祭り (幕屋の祭り) 22日 聖会	秋・初雨・農業の新年
第8の月	ヘシュワン	10-11月		雨季開始・耕作・オリーブ
第9の月	キスレウ	11-12月	25日～ 献納の祭り ※8日間続いた	雨季・羊の放牧制限
第10の月	テベト	12-1月		冬・雨季・山には雪
第11の月	シェバット	1-2月		冬終盤・アーモンドの開花
第12の月	アダル	2-3月	14-15日 プリム	春の兆し・雷・雹
第13の月	ペアダル 閏月 (年に7回加えられた)			

## <ユダヤ暦について>

- ・本暦表は、古代イスラエルで用いられていたユダヤ暦をもとに作成しています。
- ・ユダヤ暦は太陰太陽暦であり、月の満ち欠けと太陽の季節の両方を基準とします。
- ・1カ月の長さ  
1カ月は新月から次の新月までとし、月の日数は29日または30日のいずれかになります。  
(月の運行に合わせて調整されます)
- ・1日の区切り  
イスラエルでは、1日は夕方から始まり、翌日の夕方で終わります。  
そのため、日付は日没とともに切り替わります。
- ・1年の切り替え  
本稿では、年については西暦を採用しています。  
したがって、年の区切りを、現代暦の1月に対応する、テベト月15日ごろとしています。